HARD GEAR

エンジンポンプ　取扱説明書

2″清水ポンプ
SCR-50HP

3″清水ポンプ
SCR-80HP

50m 高揚程ポンプ
SCH-5050HP

このたびはエンジンポンプをお買いいただきありがとうございました。
この説明書には、操作方法及び使用上の注意事項が記載されています。
本製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、
ご使用前には必ず本書をよく読み内容を理解してからポンプをご使用ください。

目次

1.安全性についての表示 …… 2
2.安全に使用いただくために …… 2
3.各部名称 …… 4
4.仕様 …… 6
5.性能曲線 …… 7
6.運転準備 …… 8
7.始動 …… 9
8.運転 …… 9
9.停止 …… 9
10.ポンプの手入れ …… 10
11.使用しないときの保管方法 …… 10
12.トラブル対策 …… 10

1.安全性についての表示

この取扱説明書には、使用に際して、特に重要な内容を、
マークを使用して表現しており、以下の意味を示します。

⚠警告 ：守らないと、死傷または重大な人身事故となる危険性がある。

⚠注意 ：けがをする危険性がある。
状況によっては、重大な事故に結びつく可能性ある。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方が、いつでも見られる所に必ず保管ください。
機械を他人に貸す場合、この取扱説明書とエンジンの取扱説明書も必ず貸与し、
安全上の注意を理解いただいた上でご使用ください。

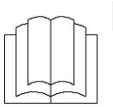
2.安全に使用していただくために

⚠警告



・ポンプ運転中に、オイル・燃料の補給をしない。火災の原因となります。
・オイルや燃料を取扱う時は、火気に近づけない。火災の原因となります。
・エンジンプラグの周囲には触れない。電気ショックによる、感電事故の原因となります。
・換気のよいところで使用ください。排気ガスには有害ガスが含まれており、死亡事故の原因となります。
・室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船庫、タンク内など、換気の悪い場所では絶対に使用しない。重大事故の原因となります。
・運転中や運転停止後しばらくは、マフラーやエンジン本体にふれない。
高温のため、やけどの原因となります。
燃料を補給する場合も、少し冷却させてから行って下さい。
・修理技術者以外は絶対に分解したり・改造したりしない。
ポンプの破損・故障や異常動作により、けがをする恐れがあります。
・マフラー内部や周辺に可燃物や異物を付着させたまま運転しない。

⚠注意



・作業前に、エンジンポンプ取扱説明書(この書面)、およびエンジンの
取扱説明書を必ず確認し、内容をよく理解してから、ご使用ください。
・このポンプは、「清水」 以外の液体運搬用に使用しない。
清水以外に使用すると、故障や火災の原因となります。



使用できないもの: 飲料水、泥水、海水、ガソリン、軽油、灯油、
重油、薬品、酸性・アルカリ性の液体等

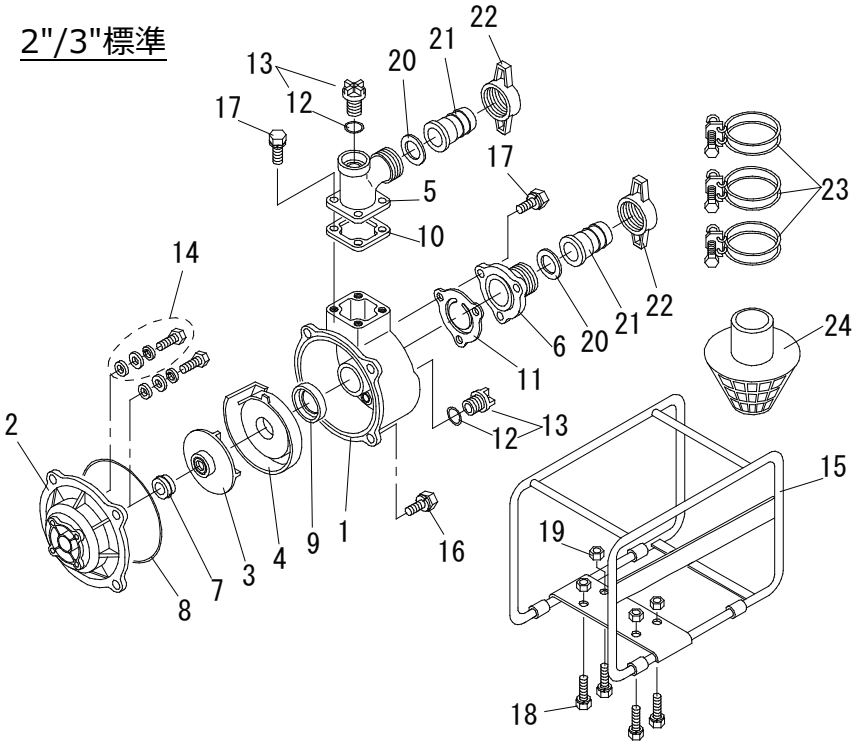
・このポンプは、「飲料水」に使用しない。人体に悪影響を及ぼす原因となります。
・各部の穴に、手や物をいれない。けがや故障の原因となります。
・運転前に、ボルト・ナット・ネジ等のゆるみがないか、ご確認ください。
ゆるみがあると故障の原因となります。
・ポンプ運転中の転倒事故や火災防止の為、**水平で安定した場所**に設置する。
・吐水ホースは、通過車両などに踏みつけられない位置に設置する。
急激な流量停止は、圧力異常(ウォーターハンマー)を起こし、故障の原因となります。
・運転前に、吐水ホースの先端が動き回らないよう、必ず固定してください。
けがの原因となります。
・運転前に、呼び水プラグと水抜きプラグの締め付けを確認する。
締め付けが緩いと、プラグが飛び出しケガの原因となります。
・使用後は、ポンプケーシング内の水を完全に抜き取る。
故障による、揚水不能の原因となります。
・ポンプ内に水が無い状態で絶対に運転しない。
ポンプの破損の原因となります。(熱によるメカニカルシール破損)
・修理の際、交換部品は必ず純正品を使用する。故障や破損の原因となります。
・本機の改造は絶対に行わない。思わぬ事故や故障の原因となります。

【注意】

・吸水ストレーナーは、目詰まりが無いか確認し、定期的に清掃してください。
・使用後は、子供の手の届かないところで保管してください。
・ガソリンは変質します。長期保管の際は、絶対にガソリンを抜いて下さい。

3.各部名称

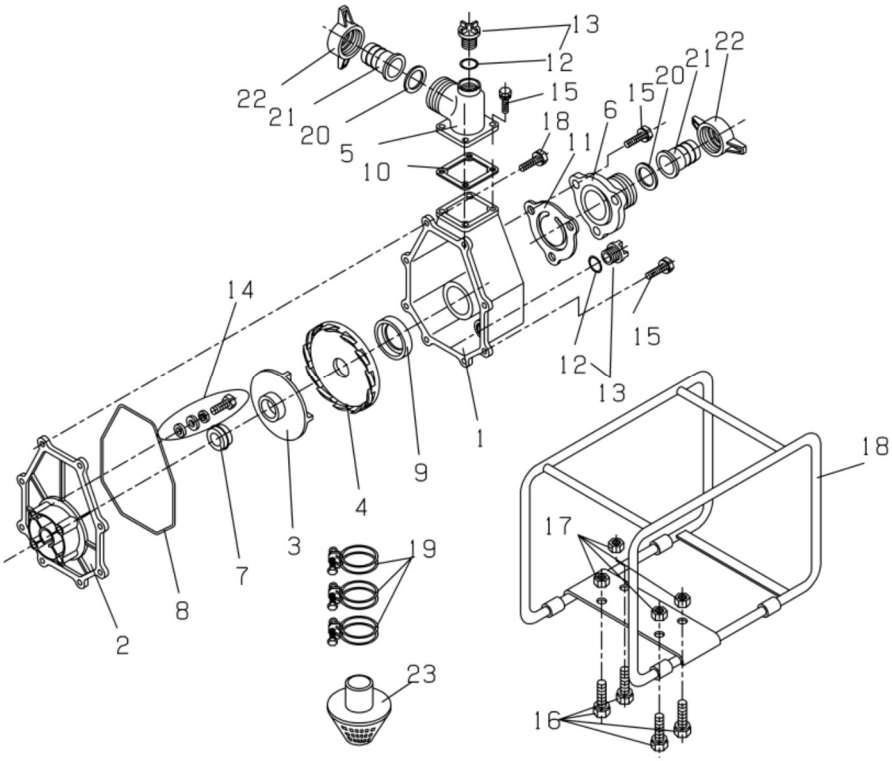
2"/3"標準



No.	品　名	個数
	エンジン	1
1	ケーシング	1
2	ケーシングカバー	1
3	インペラー	1
4	インナーケーシング	1
5	吐出ベンド	1
6	バルブケース	1
7	メカニカルシール	1
8	O-リング	1
9	インナーケーシングパッキン	1
10	ベンドパッキン	1
11	チャッキバルブ	1
12	O-リング	(2)

No.	品　名	個数
13	プラグ ASSY	2
14	ケーシングボルト ASSY	4
15	パイプフレーム／黒	1
16	十字穴付六角ボルト	4
17	十字穴付六角ボルト	7
18	十字穴付六角ボルト	4
19	フランジナット	4
20	カップリングパッキン	2
21	ホースカップリング	2
22	カップリングハンドル	2
23	ホースバンド	3
24	ストレーナー	1

2"/50m 高揚程



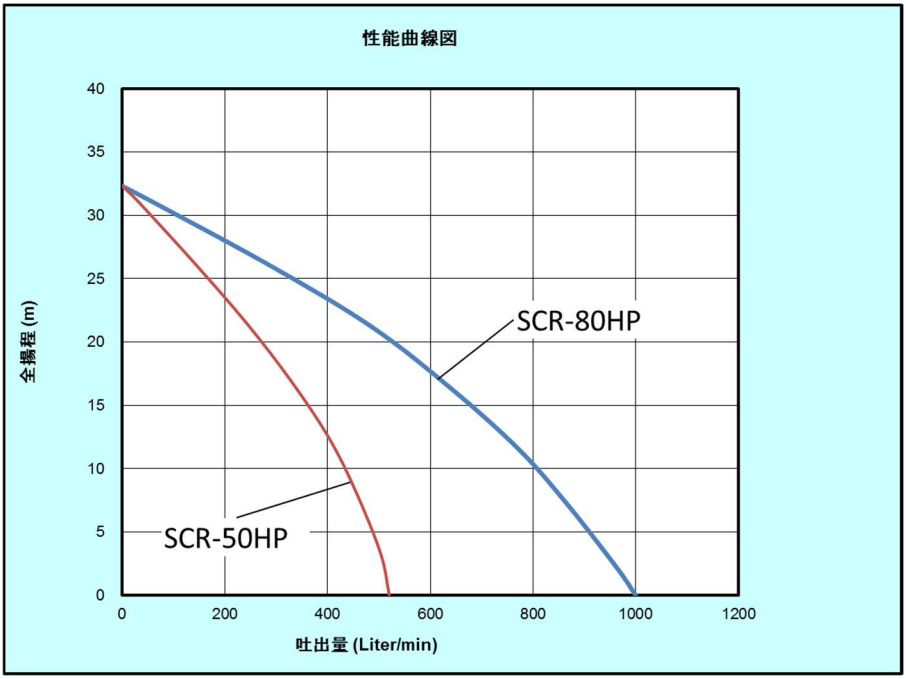
No.	品　名	個数
	エンジン	1
1	ケーシング	1
2	ケーシングカバー	1
3	インペラー	1
4	インナーケーシング	1
5	吐出ベンド	1
6	バルブケース	1
7	メカニカルシール	1
8	PK.ケーシングカバー	1
9	インナーケーシングパッキン	1
10	ベンドパッキン	1
11	チャッキバルブ	1

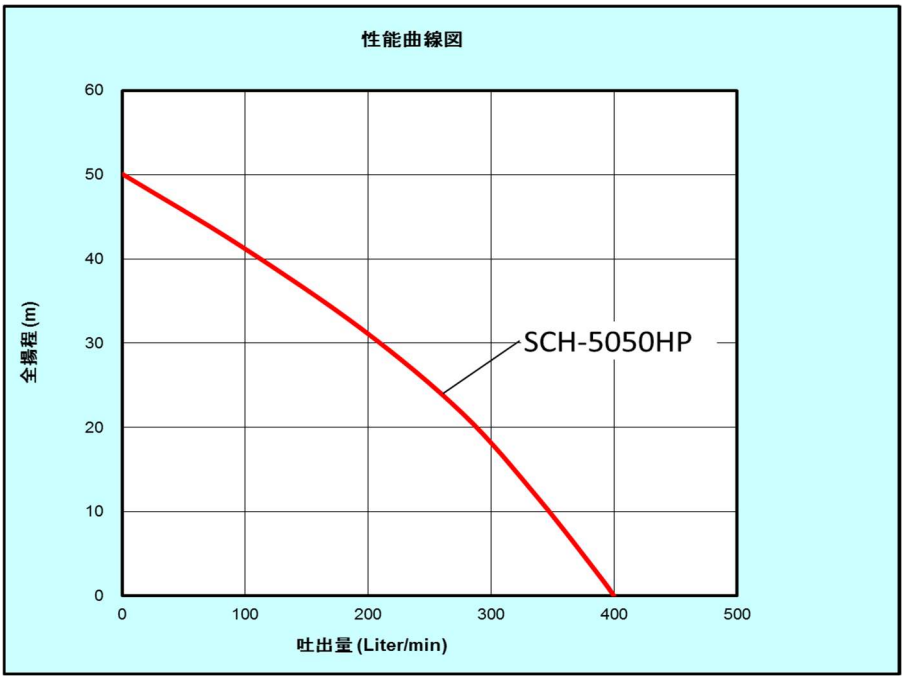
No.	品　名	個数
12	O-リング	(2)
13	プラグ ASSY	2
14	ケーシングボルト ASSY	4
15	十字穴付六角ボルト	15
16	十字穴付六角ボルト	4
17	フランジナット	4
18	フレーム/黒	1
19	ホースバンド	3
20	カップリングパッキン	2
21	ホースカップリング	2
22	カップリングハンドル	2
23	ストレーナー	1

4.仕様

仕様		標準		高揚程
モデル		**SCR-50HP**	**SCR-80HP**	**SCH-5050HP**
口径 mm		50×50	80×80	50×50
最大全揚程 m		32	32	50
最大吸水揚程 m		8	8	8
最大揚水量 l/min		520	1000	400
ハンハH	種類	空冷 4 ストローク単気筒 OHV ガソリンエンジン		
	ブランド	ホンダ		
	モデル	GP160H WHJ		
	連続定格出力	2.9 kW (3.9 HP)@3600 rpm		
	最大出力	3.6 kW (4.8 HP)@3600 rpm		
	排気量 cm^3	163		
	燃料タンク容量 L	3.1		
	燃料	自動車用無鉛ガソリン		
	オイル量 L	0.58		
寸法 LxWxH(mm)		527 x 368 x 417		
重量 kg		24.5	27	25.5

5.性能曲線


性能曲線図
全揚程 (m)
40
35
30
25
20
15
10
5
0
0
200
400
600
800
1000
1200
吐出量 (Liter/min)
SCR-80HP
SCR-50HP


性能曲線図
全揚程 (m)
60
50
40
30
20
10
0
0
100
200
300
400
500
吐出量 (Liter/min)
SCH-5050HP

6.運転準備

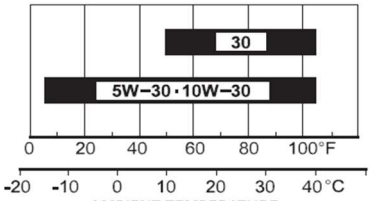
この項では、エンジンの取扱説明書も合わせてお読み下さい。

1. 燃料
   (1) 燃料の選定
   ４サイクルエンジン・・・レギュラーガソリンをご使用下さい。
   (2) 燃料の注入
   燃料タンクに燃料を入れて下さい。

⚠注意 危険ですのでエンジン運転中に燃料を入れないで下さい。
燃料を入れる際には、絶対にエンジンを停止してください。

2. エンジンオイル
   (1) 始動前にエンジンオイルが十分入っているか必ず確認して下さい。
   (2) エンジンを水平にして注入口の口元まで補給してください。
   <推奨オイル>API 分類　SE 級以上の SAE10W-30、SAE30 をご使用ください。

【注意】
・オイルは外気温度に応じて適正なオイル粘度（表を参照）の選定基準のガソリンエンジン用オイルを使用してください。
・オイルには特別な添加剤を加えないでください。
・オイルとガソリンを混ぜないでください。



外気温

3. **自吸水**
   (1) 吸水プラグを外して吐出口下面まで自吸水を入れて下さい。

⚠注意 自吸水を入れずに運転すると、メカニカルシールが損傷する恐れがあります。

4. 吸水ホース・吐水ホースの操作
   (1) 吸水ホースをポンプ吸水口に確実に取り付けて下さい。
   (2) 吐水ホースをポンプ吐水口に確実に取り付けて下さい。

⚠注意 吸水ホースの先端に必ず**ストレーナーを取り付け**て下さい。
吸水側の各接続部から空気がもれない様、確実に締め付けて下さい。

7.始動

1. 燃料コックレバーを"出"の位置に合わせます。
2. チョークレバーを"始動"の位置に合わせます。
3. エンジン回転調整レバーを操作します。
4. エンジンスイッチを"ON"(運転)の位置にします。
5. 始動 (リコイルスターター)
   ポンプの安全な部分をしっかりと抑え、始動グリップを静かに引き、
   重くなるところ(圧縮のところ)で止めます。次に一旦戻してから勢いよく引っ張って下さい。

8.運転

1. 2～3 分間、エンジンの暖機運転をしてください。
2. チョークレバーを、エンジン回転の安定を確認しながら"始動"から"運転"の
   位置に戻してください。
3. エンジン回転調整レバーを操作し、エンジン回転数を調整してください。

9.停止

1. 作業の一時停止
   (1) エンジン回転調整レバーを"低"の位置に戻してから、エンジンスイッチを
   "OFF"(停止)の位置に回します。
   (2) 燃料コックレバーを"止"の位置に合わせます。

2. 長時間停止
   (1) 30 日以上使用しない場合は、燃料タンクとキャブレター内の燃料を抜いてください。
   (2) 燃欠運転方法
   ① エンジンスイッチが ON のままで燃料コックを閉じます。
   ② 燃料タンクとキャブレター内の燃料がなくなり、エンジンが停止するまで続けます。
   (燃料がなくなると停止します。)

10.ポンプの手入れ

1. 毎日の点検
   (1) ボルト・ナット・ネジ類等のゆるみがないか調べてください。
   (2) 燃料及び潤滑油のもれがないか調べてください。

2. 100～150 時間毎の手入れ
   (1) エンジンの潤滑油をエンジンの暖かいうちに交換します。
   (2) エアークリーナー、スパークプラグの清掃を行ってください。（必要に応じて）
   (3) ボルト・ナット・ネジ類等の増し締めを行います。
   (4) ケーシングを取り外して内部を水で洗い清掃して下さい。

11.使用しないときの保管方法

1. ポンプのドレンプラグからポンプ内の水を完全に抜き取ります。
2. 燃料タンク及び気化器から燃料を完全に抜き取ります。
3. 湿気や砂・塵埃等の少ない場所にカバーで覆って保管して下さい。

12.トラブル対策

ポンプが揚水しない場合	対策
① 自吸水が不足している	呼び水を追加
② 回転が遅い	エンジン回転調速レバーを上げる
③ ストレーナーが詰まっている	きれいに清掃する
④ 吸水ホースが破れている	取り換える
⑤ 吸水ホースの接続部から空気漏れ	さらに強く締め付ける
⑥ 極端な吸水揚程	吸上高さを 8m 以内にする
⑦ ポンプ内のゴミ、異物等による循環水不足	ポンプ内を洗浄し、呼び水を入れる

DAISHIN ダイシン
〒503-1382 岐阜県養老郡養老町船附 1520 番地 1
TEL 0584-36-0501 FAX 0584-36-0504
www.daishin-japan.co.jp

205002630